

令和 2 年度

事務事業評価シート

(学校教育課)

(学校給食共同調理場)

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

野辺地町教育委員会

目 次

1 教育委員の活動	12
2 授業の充実	
（ 1 ） 小学校社会科副読本（3・4年生用）の刊行（新規）	13
3 特別活動の充実	
（ 1 ） 小・中学校作品展の開催及び音楽交歓会の開催	14
4 体育・健康教育の充実	
（ 1 ） バイキング給食の日	15
（ 2 ） 学童スキー大会の開催	16
（ 3 ） 大会派遣費補助事業	17
5 生徒指導の充実	
（ 1 ） 教育相談室設置事業	18
（ 2 ） 生徒指導委員会の充実	19
6 キャリア教育の推進	
（ 1 ） 職場体験	20
（ 2 ） 人財育成事業	21
7 特別支援教育の充実	
（ 1 ） スクールサポーター配置の充実	22
8 国際化、情報化に対応する教育の推進	
（ 1 ） 英語で元気なまちづくり事業	23
（ 2 ） ICT環境整備及び活用に向けた教職員の研修	24
9 研修の充実	
（ 1 ） 教職員ふるさと研修	25
10 教育環境の充実	
（ 1 ） 教育連携パートナーシップ協定事業	26
（ 2 ） 学校施設営繕・設備保全	27
（ 3 ） 教材備品等の整備	28
（ 4 ） 適正化を図るための小学校統廃合を検討（新規）	29
（ 5 ） 野辺地町立学校における働き方改革プランの策定（新規）	30
11 その他	
（ 1 ） 教育広報の発行	31
（ 2 ） 給食費の未納対策強化	32
（ 3 ） 就学援助事業	33
（ 4 ） 新型コロナウイルス感染症への対応（新規）	34
12 学校支援活動	
（ 1 ） 学校支援推進事業	35
13 学校保健の取組み	
（ 1 ） 児童・生徒各種健診及び教職員健診	36

事務事業評価シート

施策名	教育委員の活動	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育委員の活動	担当者名	飯田 満

事業の目的・内容	教育長及び4名の教育委員が、毎月の定例会や行事等に参加することにより、地域住民の実情に応じた教育行政を展開する。			
事業の対象	教育委員・課長・課長補佐			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	570 千円	167 千円	387 千円

事業の実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会への出席及び審議（毎月 年1 2回） （教育施策の一般方針の制定、規則・規定の制定、教育予算への意見等） ・小中学校へ学校訪問（年1回） ・小中高等学校の行事へ参加（入学式、運動会、卒業式等） ・その他、児童生徒に関する行事へ参加 ・総合教育会議等で町部局との懇談（年2回）
-------------------	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・定例会において、新型コロナへの対応や小学校統廃合等について協議し、決定した。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公表し、活動内容が理解を得られるようになったのは良い事だと思う。今後、再なる教育委員の方々が教育現場の状況をしっかりと自分の目で見られたらと願う。 ・教育関係者としては、子供の情操面や学校環境面において、アドバイスは大変ありがたく、感謝しているところである。 ・事業実績が漠然としていて、今ひとつ中身が薄いように思う。 ・評価委員の意見を参考に、教育委員の活動を広めようと平成31年から改善したことを評価します。

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・学校への直接的な関わりもある活動をしているので評価できる。 ・小学校統合についての協議決定が保護者の意見で翻ってしまったので、もう少し在り方を考え、慎重に協議すべきだったのではないか。
--

事務事業評価シート

施策名	授業の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	小学校社会科副読本（3・4年生用）の刊行（新規）	担当者名	飯田 満

事業の目的・内容	学習指導要領の改訂により社会科の教科書の内容が変わったことから、令和元年度と令和2年度の2か年、小学校教職員及び編集協力者による編集委員会を組織して、令和3年3月に刊行した。		
事業の対象	小学校3・4年生、教職員		
事業費	年度	平成31年度決算	令和2年度決算
	金額	14千円	1,145千円
			令和3年度予算
			0千円

事業の実績・成果等 (数値)	○編集委員会実施状況 編集委員12名 令和元年度：4回（事業計画・編集箇所の確認、体裁の確認等） 令和2年度：3回（原稿の確認） ※編集委員会の他、各校で原稿確認を数回行った。 ○作成物 副読本 900冊
-------------------	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・5年ぶりの刊行となったが、編集委員の協力により指導内容に合わせ記載内容や写真の刷新を行うなど、見やすく使いやすい冊子となった。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	B	A	A	—

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

令和2年度が刊行年度であるため、前年度評価なし。

評価委員意見(令和2年度)

- ・編集委員会の努力の賜物といえる。数年後の副読本の作成では、デジタル化を視野に入れて考えてほしい。
- ・内容の確認・編集を行い、便利な物にしていただいたので評価できる。
- ・5年後も計画の予定と知りました。担当の先生方の協力もあり、完成できて大変良かったと思います。
- ・前回発行されたものと比べても、内容写真共に現在にあっている内容になっているのであれば大変良いと思う。

事務事業評価シート

施策名	特別活動の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	小・中学校作品展の開催及び音楽交歓会の開催	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	小中連携事業の一環であり、特に音楽交歓会においては、幼稚園や高等学校と交流する機会を設けたりしている。			
事業の対象	町内の幼児、児童生徒			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	50 千円	0 千円	50 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で作品展・音楽交歓会ともに中止となった。 (令和3年度は音楽交歓会の中止が決定している。)		
-------------------	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	地域住民への町の子どもの日頃の学習の成果を発表する場となっている。 また、児童生徒が他の学校の子どものがんばりを見ることによって、お互いの刺激になっているが、休校等となった場合は授業時数の確保を優先せざるを得ない。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・町はもちろん、日本の宝である子供たちが活動し、発表の場を通して交流が出来る事は素晴らしいと思う。コロナ禍ではあるが今後も続けていってほしい。</p> <p>・小中連携事業としては、良い行事と思う。作品展は秋が望ましいので、中学生の受験勉強があわただしくなる前に実施したいと考える。</p> <p>・町内だけではなく本物の音楽を聞ける場であって欲しい。</p>

評価委員意見(令和2年度)

<p>・音楽に関しては、コロナ感染症の影響を多大に受ける。1つの場所に大勢集まらないような催し物は不可能に近い。</p> <p>・今後も継続をお願いします。</p> <p>・コロナ禍で実施は大変な作業とは思いますが、1つでもできることから行ってほしいと思います。</p> <p>・児童・生徒・地域住民が触れ合える貴重な機会なので、継続していただきたい。また、自分の学校以外の音楽を聞くことにより、関心も高まるだろうと考えられる。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校給食共同調理場
事務事業名	バイキング給食の日	担当者名	浜野 裕子

事業の目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バイキング方式での給食を通して、主食・主菜・副菜をバランスよく自分で選ぶ能力を身に付ける。 ・苦手な食べ物にもチャレンジする気持ちを育てる。 ・食事のマナーを学ぶことができ、修学旅行の事前学習として役立てられる。 ・栄養教諭による出前授業を行い食育指導を実施する。 			
	事業の対象 バイキング給食：小学校5年生 食育指導：小中学校児童生徒			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	－ 千円	－ 千円	－ 千円

事業の実績・成果等 (数値)	・栄養教諭による食育指導は、小・中学校全てで実施 (指導状況) 野辺地小学校 7回 馬門小学校 3回 若葉小学校 6回 野辺地中学校 3回		
	・バイキング給食は、小学校5年生が対象 (実施回数) 野辺地小学校 1回、若葉・馬門小学校合同 1回		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】食育指導の実施で偏りのない食事のとり方を理解したり楽しく食事がとれるよう学び苦手なメニューも食べるようになる。バイキングは選択する楽しみや食事量・組合せを考えたり食事のマナーや友達を思いやる心を学ぶことができる。 【課題】バイキングはメニューの種類が必要になるためコスト面が課題となっていたが、R2から給食費が改正になり栄養士のメニューの工夫によりバイキングを楽しんでもらうことができる。コロナ感染対策として体育館に変更したり廊下を活用して実施している。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・生きる事は食べる事。食育の大切さはもちろんですが、バイキング給食を通じて食事のマナーなど学ぶチャンスになります。今後もぜひ継続してほしい。</p> <p>・子供たちが非常に楽しみにしている行事である。ただ、今後、衛生面・感染予防面が更に厳しくなることを考えると、一考を要する。</p> <p>・とても良い取組みだと思う。</p>
--

評価委員意見(令和2年度)

<p>・小学5年生が対象なのは適正であると感じる。ただ、「無制限に食べ放題」というものとは違うということをきちんと指導内容に入れた方がよい。</p> <p>・食育は人にとって大事なことなので、食を学ぶ機会として評価できる。</p> <p>・今回中学生のバイキングも実施されることになり、小学校で楽しかったバイキングを思い出した生徒もいたと思います。小学5年生のバイキングも今後継続してほしいです。</p> <p>・このまま続けていってほしい。コロナに負けず続けていけるとするのはすごいと思う。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学童スキー大会の開催	担当者名	杉山 拓

事業の目的・内容	①町内学校の冬季体育（学校スキー）の交歓を通して、運動能力の向上を図る。			
	②大会参加を目指して練習・努力する過程を通して、人間性の育成を図る。			
事業の対象	③ルールに従い培った能力を表現する活動を通して、正しい競技参加能力を育てる。			
	小学4年、5年、6年生			
事業費	年度	平成31年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	277千円	95千円	280千円

事業の実績・成果等 (数値)	教育振興会主催の事業であり、運営に係る費用は町からの補助金となる。			
	○参加児童数の推移（4年、5年、6年生の合計）			
		H31年度	R2年度	R3年度（推定）
	野辺地小学校	124人	39人	105人
	若葉小学校	119人	34人	130人
	馬門小学校	15人	7人	14人
	(合計)	258人	80人	249人
※R2は新型コロナウイルスへの対策として規模縮小により6年生のみ参加とした。				
※R3の推定値は、4～6年生の合計値とした。				

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分にできている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	<input type="checkbox"/> 達成できている		
	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	アルペン競技の参加児童が野小のみとなっており、他校交流を図るのが難しくなっている。 ほかには、令和2年度は新型コロナウイルスへの対策として、6年生のみの参加とし、密になりやすいあったかハウスの利用時間が少なくなるよう計画した。 小学校統合後の大会の在り方についても、今後協議する必要がある。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・年によって雪の少ない時は実施できるか非常に悩みの種だと思いましたが、止めるのではなく雪国ならではのスキー体験を今後も町民、心と力と知恵を合わせて協力し継続してほしい。

・児童数の減少とともに、雪不足という課題が大きいのしかかった年であった。野辺地町としても、冬の一大行事なので、3校あるうちは残してほしい。

・野小のみのアルペンに疑問あり。学童スキー大会の意味がないように思う。

・人手が少ない中、工夫して開催したことに努力がみえた。大変だろうけど、ぜひ継続してほしい。

評価委員意見(令和2年度)

・コロナ対策による6年生のみの大会はいたしかたなかったと思う。大会自体はあっという間に終了し、少し残念な感が残る。

・子どもたちも、他の学校の子と真剣に競技する場となっているので、評価できる。

・コロナ禍での実施でしたが、いろいろ工夫しながら本当にできてよかったです。北国でのスポーツ・スキーを楽しめるチャンスでもあるので、今後も継続してほしいです。

・昨年は6年生だけの競技で大変寂しく残念だった。コロナ禍とはいえ、開催してくれたのは有り難いが、今年また4年生以上での実施となれば、お手伝いが集まるのかなど不安も少しある。

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	大会派遣費補助事業	担当者名	荒谷 成美

事業の目的・内容	町内の小学校又は中学校に在籍する児童生徒を対象に、スポーツ・文化活動における大会へ参加するための費用を補助する事業。 保護者の負担を軽減するとともにスポーツ・文化活動の振興を図るものである。			
	事業の対象 小中学校、スポーツ少年団など			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	3,839 千円	377 千円	2,280 千円

事業の実績・成果等 (数値)	(中学校) 県大会 : サッカー、駅伝、野球、陸上、スキー 全国大会 : スキー …7大会 272,764円			
	(スポ少) 全日本選抜クロスカントリースキー大会 (長野県) …1大会 104,097円			
	補助対象経費【補助率】 参加料【2分の1】、交通費【2分の1】※指導者引率者は全額 宿泊費【2分の1】※指導者引率者は全額、その他プログラム購入費等 ・R2は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの大会が中止となった。			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A 優れた取組みが多く、十分成果が上がっている		
評価説明及び考察、課題	新型コロナウイルス感染症の影響により中体連夏季大会や東北・全国大会等が中止となったため、本事業の利用が大幅に減となったが、コロナ対策を実施し大会へ参加する場合は補助を行った。子どもたちの各活動を支援するため、引き続き本事業を実施していきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・子供たちの健康には、夢と希望が必要だと思ふ。好きな活動をあきらめるのではなく、協力できる補助事業がある事によって前進でき、感謝の気持ちが生まれてくると思ふ。</p> <p>・選手および練習相手の児童生徒にも補助を適用するのは大変良いと思ふ。その際、多方面から支援されているという感謝の気持ちを育てるような指導者の言葉があった方が良いと感じる。</p> <p>・各競技でたくさん予算が使えるようになることを期待します。</p>
--

評価委員意見(令和2年度)

<p>・大会への補助は本当に助かると思ふ。コロナ禍で大会が激減したが、この事業は存続させるべき。</p> <p>・優秀な成績と共に県外の大会等は費用がかさむので、補助は大変有り難い。</p> <p>・担当課の評価のとおり。</p> <p>・子どもたちのモチベーションにもつながるので、ぜひ継続して支援して欲しい。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	生徒指導の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育相談室設置事業	担当者名	中野 良喜

事業の目的・内容	町勤労青少年ホーム内に野辺地町教育相談室を設置し、教育相談や不登校支援等を実施している			
事業の対象	児童生徒・保護者・教師			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	4,576 千円	4,319 千円	3,773 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○教育相談室の設置 主任教育相談員1名・相談員2名のほか、スクールソーシャルワーカーにより、教育相談に対応。相談受付：月～金、9時～15時。 ○相談実績 面接相談（来室・訪問等）小学生75 中学生100 高校生2 他13 計 190名 電話相談 小学生97 中学生217 高校生2 他17 計 333名 総計 523名
	○通室活動実績 小学生1名、中学生2名の通室があった。3名合計年間215日の出席があった。学校出席日数に換算されている。 ○スクールカウンセラーの配置 ・予算については、県費負担。配置拠点校及び配置人数は1名。 ※年間配置数は野辺地中は35日、野辺地小13日、若葉小20日、馬門小13日。 ・延べ相談者数は、野辺地中43名、野辺地小14名、若葉小26名、馬門小11名。

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A 優れた取組みが多く、十分成果が上がっている		
評価説明及び考察、課題	町内の教育相談や登校渋り及び適応指導に対応する施設であり、町健康づくり課をはじめ各関係機関や町内各学校とも必要に応じて連携協力を図り、相談者の悩みの軽減に取り組んでいる。 相談内容やその背後にある環境に複雑なものが増えてきており、長期的な対応も必要なケースもあることから指導員の負担が大きくなっている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・スクールソーシャルワーカーが教育相談に対応できているのは良いと思う。年々、人口は減っているが支援の必要な子どもと親が増加しているのは野辺地町だけではないと思います。今後も指導者の育成に努めてほしい。</p> <p>・不登校児童生徒に対する文科省の見解が見直された。それは、最終的に学校現場への復帰を目指すものではないということ。従って、学校へ行けない児童生徒が教育相談室を自分の居場所と感じていれば、それで良いと思う。</p> <p>・先生方も頭を悩ます部分だと思うので、是非、先生方にも目を向けて欲しい。</p> <p>・相談後のその子の先が見えてこない。その場限りの指導のように思われるので、もう少し踏み込み長い活動をしてほしい。</p>

評価委員意見(令和2年度)

<p>・学校に原因があるのではなく、人間関係に煩わしさを覚え学校に足が向かない児童も増えてきた。相談室に通室することが、今後の人生に必ずプラスになることを保護者に啓発して行ってほしい。</p> <p>・思春期は悩みが多いことと、スマホ等の普及で多種多様な相談があるので、重要な事業だと思う。</p> <p>・相談後の更なるフォローアップの必要を感じています。さまざまなケースがあると思いますが、良い方向性を示していただきたいと願っています。</p> <p>・教育相談室と学校の先生、保護者との連絡がうまくとれているのか見えてこない。相談室の実績だけでなく、その後の報告もあればこの事業の様子が見えてくるのではないかと。</p>

事務事業評価シート

施策名	生徒指導の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	生徒指導委員会の充実	担当者名	中野 良喜

事業の目的・内容	小・中・高で連携し問題行動のある児童・生徒を指導、見守りしていく体制を整える。 (町教育振興会事業)			
	事業の対象			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	10 千円	10 千円	10 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和2年5月～令和3年1月 年5回生徒指導委員会を開催。 小学校・中学校・高校・警察・上北教育事務所・教育委員会・健康づくり課の職員で情報交換を行い、児童生徒の問題行動に関し情報共有することにより、問題解決に町ぐるみで取り組んだ。 夏季休業中の生活における注意喚起や、交通安全運動に合わせた登校指導の実施、スマホやインターネット利用状況の実態について確認した。
-------------------	---

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	町関係各課、町内小中高等学校、教育委員会、警察等情報共有及び連携ができたことにより生徒指導上の課題について協働して取り組んだりすることができ、問題行動の予防につなげることができた。 この会でしか手に入らない情報等も多数あるので、今後多様化する生徒指導上の諸問題に迅速に対応するため必要不可欠と考える。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	A	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続してほしい。 ・小、中、高の連携が効果的なのは、この生徒指導関係である。今後の課題は、スマホ・ゲーム依存にならないよう、家庭の教育力を高めることと思う。 ・継続に期待します。 ・情報提供、情報共有がなされている、とのことで成果ありとのことだが、予防のための対策のアクションをおこしてほしい。
--

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供や共有は校長会等で充分されている。生徒指導上の共有課題を探り、町全体として取り組んでいこうとの施策の提言が必要なのではないか。 ・子どもたちを正しい道へ導く事業ということで、今後もより良い活動を期待します。 ・コロナ禍の中で集まっての話し合いなど大変だと思います。今後もあらゆる角度からの見守り体制をしていくことを望んでいます。 ・子どもたちの状況・様子を共有できる場があるのはとても大事で必要であり、予防につながっているとのことなので、更に継続して行ってほしい。
--

事務事業評価シート

施策名	キャリア教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	職場体験	担当者名	飯田 満

事業の目的・内容	一人一人の子どもが自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成を図るため、小中学校等の教育活動を支援する。		
事業の対象	中学校、小学校		
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算
	金額	0 千円	0 千円
			令和 3 年度予算
			0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	新型コロナウイルス感染症対策のため、実施方法等を変更した。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・野辺地中学校：例年の職場体験学習ではなく、「働く大人・卒業生の講話会」と題し、町内で働いている10～20代の卒業生19名が職業講話を行った。 ・野辺地小学校：八戸市立市民病院 今明秀院長の講話により、命を守る仕事の大切さを学ぶ。 ・若葉小学校：出前講座（1年動物愛護センター、3年航空科学館、6年野辺地町の平安時代） ・馬門小学校：あおもり「食命人」（八戸プラザホテル総料理長）による調理実習講座 		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	新型コロナの影響により、小中学生の職場体験、高校生のインターンシップ等実施が困難であったが、別の方法で行うなど、各校で工夫を重ねて教育活動を行っている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	B	A	B	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの社会経験を体験して、これからの人生に少しでも役に立てられたらと思う。忙しい中、場を提供してくれた方々に感謝です。 ・キャリア教育としての職場体験は非常に有益である。 ・多くの受け入れ事業所があることに感謝すると共に、また一つでも受け入れてくれる事業所が増えてくれたらと思う。

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・講演にしても職場体験にしても、コロナ禍においては、なかなか実施困難な取組である。ICTを活用したキャリア教育を考えるときでもある。 ・子ども自身がどんな大人になりたいのか考えることができる事業だと思うので、もっと活発な活動も必要と思う。 ・コロナ禍の中での工夫が必要になっていくのかなと思います。今後も継続を希望します。 ・働く大人・卒業生の講話会などとても有意義であると思う。同じふるさとで育った自分の先輩の話というのは、考え方を整えるきっかけになるし、頑張る意欲向上につながると思う。
--

事務事業評価シート

施策名	キャリア教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	人財育成事業	担当者名	荒谷 成美

事業の目的・内容	町内の高等学校に在籍する生徒を対象に、長期休業中に民間の学習塾講師を招致し、短期講座を開催する。生徒の学力を向上することで町内高等学校の4年制大学進学率の向上を図り、町内高等学校の魅力づくりに寄与する。 また、学力向上支援事業として外国語によるコミュニケーション能力を養うための短期間海外研修に係る費用を助成する。			
	事業の対象 町内の高等学校に在籍している生徒			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	1,241 千円	561 千円	1,122 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○高校生短期講座 (R2より開始)			
	夏期：新型コロナウイルス感染症の影響により中止			
	冬期：令和3年1月4日(月)～7日(木) ※悪天候により4日間日程となった。			
	【参加者】	1年 野高10名、西高8名	計18名	
	2年 野高14名、西高8名、町外高校2名	計24名	合計42名	
	【学習内容】国語、数学、英語			
	○海外研修 休止			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分にできている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	これまで民間の学習塾が実施する講習会への費用を助成していたが、対象者が限られてしまう状態であった。 令和2年度からは町へ講師を招致することでより多くの生徒を対象に事業を実施することができた。新型コロナウイルスの影響により冬期の実施となったが、学習内容等を工夫し、子どもたちの学力向上に寄与していきたい。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	A	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・勉強の仕方がわからない子供たちに、学ぶ喜びが伝わるきっかけとなればと思う。 ・予備校短期講習にも海外研修にも参加している人は、両方で助成金を受けることになるが、「人材育成」という観点から、幅広い分野へ適用しても良いのではないか。 ・一人でも多くの生徒が参加出来ることを期待します。

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・学習塾講師を招き短期講座を行う取組は良かったと思う。広く多くの生徒が参加できるような宣伝が大事だと思う。 ・事業に参加する生徒が増えたので評価できる。 ・参加した生徒たちの保護者の声もぜひ聞いてみたいと思います。 ・人財育成事業を受講した生徒たちのその後がどうなったのか。きちんと将来につながっているのか。生徒たちのアンケートも見てみたい。
--

事務事業評価シート

施策名	特別支援教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	スクールサポーター配置の充実	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	町内学校において障害をもつ児童生徒や学習が遅れがちな児童生徒等の、特別な支援を必要とする児童生徒の生活や学習を支援するためのスクールサポーターを設置する。			
事業の対象	町内小・中学校			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	15,051 千円	15,139 千円	14,624 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○配置人数の推移					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	野辺地小学校	3 人	3 人	4 人	4 人	5 人
	若葉小学校	3 人	3 人	4 人	5 人	5 人
	馬門小学校	2 人	3 人	2 人	2 人	2 人
	野辺地中学校	2 人	2 人	3 人	2 人	2 人
	○H31年度特別支援教育支援員スキルアップ研修参加状況→10名(内新規採用者3名)					
	○R2年度特別支援教育支援員スキルアップ研修参加状況→中止のため研修資料配布のみ					

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
評価説明及び考察、課題	町内学校においては、特別な支援が必要な児童生徒は年々増加傾向にあり、学校が要求するスクールサポーターの人数も増えてきている。令和2年度においても増員している。今後も、財政課と調整しながら、できる限り学校の要望に応えていきたい。 研修に関しては、H30年度から、県教育委員会主催の特別支援教育支援員スキルアップ研修にスクールサポーターを参加させ、発達障害等の児童生徒に対する学習支援の実践的な知識などを習得した。 ※令和2年度は中止のため、研修資料の配布のみ行った。	
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	A	B	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・スクールサポーターの学びの場は絶対必要です。ロールプレイをしたり、学校の現状など、いろんなパターンを知ったり、対処できるスキルが向上できればと思います。</p> <p>・低学年は少人数学級が可能で、1クラスの児童数がそれほどでもないが、中学年以上は30~40人と大変多い。担任1人では、掌握が困難なため、スクールサポーターの重要性は年々増している。</p>
--

評価委員意見(令和2年度)

<p>・スクールサポーターのスキルアップ研修は毎年実施してほしい。支援といっても1つの方法だけではないので。</p> <p>・スクールサポーターのクラスでの存在は大変重要で、今後も継続していく必要がある。</p> <p>・今後も継続していただきたい。</p> <p>・子どもにとって担任もスクールサポーターの方も同じ先生なので、学びの機会があるのは資質の向上にもつながるので大事だと思う。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	英語で元気なまちづくり事業	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	英語指導を行う外国語指導助手（ALT）の派遣事業。小学校からの英語コミュニケーション能力育成により中学校への円滑な移行を図るとともに、幼少期からの英語指導により英語教育に順応しやすい児童生徒の育成を図る。			
事業の対象	児童生徒及び幼児、一般町民			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	10,636 千円	5,570 千円	11,956 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和2年度は外国青年招致事業（JETプログラム）によるALTが来日予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となったため国際交流支援員を町単費で雇用した。 英語専科教員の補助として小学校に週5日、中学校に週2日（午後のみ）出向き、英語での授業の補助を行った。			
-------------------	---	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	授業での指導の他、休み時間や給食時間等の授業外の活動でも子どもたちとの交流を深め、英語コミュニケーション能力の向上に寄与したと思われる。 町内の幼保からも事業を行ってほしいとの要望があるが、小学校の授業数が増加したこと等により、時間の確保が難しくなっている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・日本語の中で生活しているため、なかなか生の英語に触れる体験の場が少ないので、学ぶのはもちろん気軽に話せるようなチャンスがほしいです。</p> <p>・小学生からではなく、幼児から英語に触れあうのは良いことだと思う。小学校は評価も入ってくるが、幼児期には、遊びの中で英語を聞く耳を育ててほしいと願っている。</p> <p>・もっとたくさんの時間が確保出来たらと思う。</p>
--

評価委員意見(令和2年度)

<p>・ネイティブな英語を聞かせたいのは「聞く耳」を作るためだと思う。そういう点でのALTの活用を望む。</p> <p>・可能であれば、英語専科教員を増員して子どもたちが学べる時間が増えると思う。</p> <p>・更に更に頑張ってもらいたい。</p>

事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	ICT環境整備及び活用に向けた教職員の研修	担当者名	杉山 拓

事業の目的・内容	国は「GIGAスクール構想」を掲げ、児童生徒1人1台端末の実現とそれらの高速大容量の通信を可能とする環境の構築を推進するため、これらに係る補助金が新設された。 本事業は、子供たちの資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を図るとともに、活用のための研修を実施するものである。		
事業の対象	町内小・中学校		
事業費	年度	平成31年度決算	令和2年度決算
	金額	13,165千円	105,801千円
			令和3年度予算
			7,738千円

事業の実績・成果等 (数値)	■令和2年度 整備概要 ・校内ネットワーク整備工事(小・中4校のWi-Fi整備) ￥49,500,000円 ・学習用端末の整備・学習用アプリの導入(全734台) ￥42,130,000円 ・関連物品の購入(液晶保護フィルム・ケース等) ￥5,008,960円 ・臨時休校対応用モバイルWi-Fiルーター(全160台) ￥2,761,000円		
	■令和2年度 開催研修 ・学習用端末導入研修(R3.3.18) 中学校教職員対象		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	各学校のICT環境は整備されたものの、ICTを活用しようとする先生と活用に奥手な先生との間で活用頻度に差が生じている。子どもたちのICT活用場面を増やしていくためには、活用させようとする先生方の活用能力向上が必要不可欠であり、研修を定期的実施していくことが重要と考えられる。 また、現場で授業等をサポートするICT支援員という存在が必要と考えており、方法を模索中である。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	C	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で必要性が大となったので、これからの研修なども含めて指導者の育成に努めてほしい。 ・平成30年度の意見に「ロイロノートの活用がカギ」とあったが、まさにそのとおりで、タブレットPCでは非常に効果的。教員に「使ってほしい」と言うだけでなく、定期的にレクチャーする機会を設けたらどうだろうか。 ・もっと進めて欲しい。 ・これから必要なことだと思うので、先を見ずえた活動であってほしい。

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・貸出用のWi-Fiルーターは、休校が決まったらすぐに貸し出せるような仕組みを整えてほしい。 ・ICTを有効利用するための、研修を充実することが先ず必要と思う。

事務事業評価シート

施策名	研修の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教職員ふるさと研修	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	新たに当町に着任した教職員等を対象に、当町の歴史や文化、特産品などを紹介することで、当町に興味を持ってもらい、当町の特性をよく理解してもらうことで、社会科の地域学習をはじめとした指導力の向上を図る。		
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭等として新たに任用された職員（初任者） ・野辺地町に初めて着任した教職員 ・5年以上野辺地町を離れていた教職員 		
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算
	金額	2 千円	2 千円
			令和 3 年度予算
			2 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○視察場所
	歴史民俗資料館、行在所、常夜燈公園、みちのく丸、漁業協同組合、JAゆうき青森、まかど温泉スキー場（ハッチョウトンボ観察）、行在所（昼食：松浦さんによる郷土料理）
	○講師：歴史を語る会 会長 鈴木幹人、教育委員 野坂幸子
	○研修参加者：教職員14人
	○【アンケート結果】大変有意義だった13名、有意義だった1名、まあまあだった0名、もの足りない0名、非常に不満足0名

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	アンケート結果については、「野辺地町に誇りをもたせるためのヒントをたくさん頂いたので、子ども達に伝えていきたい」、「個人では見られない開けない場を与えてもらい、町に対して興味を持った」など、すべて肯定的な意見であった。今後も継続してアンケートを実施して内容を改善していきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、研修に参加される方々が異なるので、この企画が野辺地町を知ってもらえる良い時となるように、内容を充実させながら継続してほしい。 ・ふるさと研修を受けた教師からは、高い評価を得ている。 ・この事業はもっと広げて行って欲しい。 ・参加した方々がとても良かったということは、大成功な事業で野辺地を知ってもらうきっかけとして、すごく役に立っている。
--

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・野辺地町に住んでいる子どもたちが、自分の町をよく理解している先生というのは、尊敬できると思うので評価できる。 ・継続を希望します。 ・野辺地の歴史を知ってもらい活かしていただければ、これほど嬉しいことはない。

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育連携パートナーシップ協定事業	担当者名	荒谷 成美

事業の目的・内容	町教育委員会（小学校・中学校）と高等学校が連携・協力し、活力ある個性豊かな教育活動をより一層推進することを目的として、教育連携パートナーシップ協定を県立野辺地高等学校及び八戸学院野辺地西高等学校それぞれと平成30年7月に締結した。 また、連携事項を円滑に推進するために「野辺地町教育連携推進会議」を設置した。会議は必要に応じて開催し、連携事項について報告・協議等を行う。			
	事業の対象 教職員及び児童生徒			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	0 千円	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等（数値）	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回野辺地町教育連携推進会議 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。 ● 主な連携事項 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象の寺子屋事業、中学生対象の体育実技演習（野辺地高校） ・のへじ祇園まつりでの山車の制作及び運行（野辺地西高校） ・高校生に対する人財育成事業（学力向上事業、競技スポーツ強化支援） ・在学青年ボランティア会（地教委）等
---------------	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	教育連携パートナーシップ協定を締結することで、連携の目的や内容をより明確にすることができている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により連携推進会議を中止、各事業においても実施が難しい状況であった。		
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・なかなか活力のある個性豊かな教育活動を推進して行く事は大変だと思っておりますが、今後も若い方々の交流の場として、計画的に実施してほしいと思います。</p> <p>・高校生は、小学生から見ると「お手本」に近い。寺子屋事業では、「楽しかった」という感想が多かった。小学校の「いじめ問題」に対しても高校生のお話は非常に効果的と言われているので、生徒指導面でも連携してほしい。</p> <p>・高校生にとっても貴重な経験と時間だと思うので、継続して欲しい。</p> <p>・これからの更なる発展を望む。大人にはない柔軟な発想を持っている子供たちのパワーを野辺地町に活かしてほしい。</p>
--

評価委員意見(令和2年度)

<p>・今後も継続が大事な事業。</p> <p>・コロナ禍でも何か工夫してできればと思いますが、現実には中々難しいと思います。何かの活動情報等お互い知ってもらえるのも良いかと思っております。</p> <p>・高校生のパワーを披露する場であると思うので、もっと積極的に活動してもらって、高校生も自分の魅力に気付ける場になってほしい。</p>

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校施設営繕・設備保全	担当者名	杉山 拓

事業の目的・内容	教育施設の維持管理及び修繕工事を実施し、安全・安心な学校づくりを目指している。			
事業の対象	各小・中学校			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	53,319 千円	227,814 千円	17,065 千円

事業の実績・成果等(数値)	■実施工事		
	○小学校		
	・テレビ共同アンテナ配線改修工事		¥143,000円
	・町内小学校防火設備改修工事		¥1,023,000円
	・若葉小学校普通教室壁改修工事		¥495,000円
	・若葉小学校高圧ケーブル等更新工事		¥935,000円
	・野辺地小学校トイレ改修工事		¥1,078,000円
	・野辺地小学校エアコン機器等設置工事	※繰越事業	¥37,213,000円
	・若葉小学校エアコン機器等設置工事	※繰越事業	¥35,200,000円
	○中学校		
	・野辺地中学校エアコン機器等設置工事	※繰越事業	¥72,050,000円
	○小中学校(小中学校まとめて発注したもの)		
	校内ネットワーク整備工事		¥49,500,000円
	※上記の事業費欄の金額は、これらの工事費のほか、工事に係る設計・監理業務費、学校施設の維持管理費を含んでいる。		

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	限られた予算の中で児童生徒の安全を最優先に改修等を実施している。改修にも限度があり、全小学校施設における老朽化への対応策が課題となっている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・限られた予算の中で、必要な所から手をかけて下さっているので感謝します。</p> <p>・「安心・安全な学校づくり」をしてくれていると、ひしひしと感じる。</p> <p>・上の階から水が落ちて来る野小を見ていると悲しくなる。</p>

評価委員意見(令和2年度)

<p>・エアコン設置は野辺地町はとても早かった。教育関係に予算を振り向けていることに感謝している。</p> <p>・環境改善され、有難く思います。</p> <p>・依頼も多く、あれもこれもとはいかない中で、工夫しながら限られた予算内で実行していただき感謝しています。</p>

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教材備品等の整備	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	教育課程にもとづき授業を実施するうえで、児童・生徒の心身の向上や能力向上のために必要な備品及び学校運営に必要な備品を購入するもの。 また、古くなった既存の備品や故障等で使用できなくなった備品を廃棄し、新規購入するもの。			
	事業の対象 教員及び児童・生徒			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	3,551 千円	4,027 千円	2,796 千円

事業の実績・成果等 (数値)	野小	489,109円 (163,658円)
	若小	1,725,840円 (1,009,800円)
	馬小	793,056円 (732,974円)
	野中	1,018,670円 (737,000円)
	※令和2年度はコロナ対策補助金等(カッコ内記載)で学習用機器や感染対策備品等の購入を行ったため増額となっている。	
	毎年11月末の来年度当初予算編成へ向け、各小中学校が必要な備品を取りまとめ教育委員会へ提出。教育委員会は学校が要望した備品について担当者から聞き取り、必要性を検討、精査してから町部局へ予算要望している。	

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	当初予算作成の際、各学校へは必要性を精査した要望をお願いしているが、必要な備品であっても査定により削減される場合が多い。 また、現在は小学校統合を見据え、エクセルで管理している備品リストを利用して廃棄・所管替えに向けた情報共有を行っている。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・リスト作成と備品の共有へ向けての作業をよろしくご依頼致します。紙のデータではなくエクセルで管理していくと聞いたので、完成したら学校には有益であると思います。

・全ては子供たちのために。十分に補充していただきたい。

評価委員意見(令和2年度)

・エクセルでデータ管理されているということで、情報共有が今後適切な管理につながっていくことを評価します。

・統合に向けて少しずつ進められていることに感謝です。

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	適正化を図るための小学校統廃合を検討（新規）	担当者名	飯田 満

事業の目的・内容	児童数の減少に応じた適正な学校規模・適正配置の検討を行った。			
事業の対象	野辺地町立小学校			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	0 千円	6 千円	240 千円

事業の実績・成果等 (数値)	・令和2年4月 児童数の減少に応じた適正な学校規模・適正配置に係る基本的な方針についての答申を野辺地町教育構想検討委員会から受け、「野辺地町立小学校適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定。
	・令和2年10月 小学生以下の子供を持つ保護者を対象とした小学校統廃合に関するアンケートを実施。
	・令和3年2月 小学校の統廃合を進める具体的な取組みを定めた、「野辺地町立小学校統廃合基本計画（素案）」を策定。

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・令和3年度は、統廃合基本計画（素案）による具体的な取組みを実現するため、統合準備委員会を設置し、保護者や関係機関の理解を得ながら進めている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	—

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>新規の取組みのため前年度の評価なし</p>

評価委員意見(令和2年度)

<p>・(委員が)評価できる事業ではないと思う。十分検討を重ね、進めてもらいたい。</p> <p>・統合準備委員会が各部門ごとに設置され、有益な意見交換や内容確認ができています。</p> <p>・今後もよろしく願います。</p> <p>・これから先、子どもたちが少なくなるのは分かりきっているので、早く進めてほしい。保護者の方々の関心がなぜ薄いのか。そこを気付かせることも大事なのではないかと思う。</p>

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	野辺地町立学校における働き方改革プランの策定(新規)	担当者名	藤谷 俊徳

事業の目的・内容	長時間勤務の更生を図ることで、教職員の健康及び福祉を確保し、教職員が意欲と能力を最大限発揮して、子どもたちに効果的な教育活動を行うことができるように、令和2年9月に策定した。		
事業の対象	教職員		
事業費	年度	平成31年度決算	令和2年度決算
	金額	0千円	0千円

事業の実績・成果等(数値)	主な取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績処理、その他の事務処理を効率化するために校務へのICT活用の推進 ・ 教職員の意識改革のため、他市町村の業務改善に係る好事例の周知 等
	時間外労働時間集計[4か月平均(R3.4~7月)]
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 33.0時間(昨年度同時期37.2時間) ・ 中学校 52.4時間(昨年度同時期26.0時間)

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input checked="" type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	時間外労働時間の昨年度同時期との比較では、小学校は減少しているが、中学校は増加している状況であった。 すぐに効果が出るものではないと思われるので、今後も本プランに則った働き方の見直しを行い、時間外労働の削減に努める。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	C	C	B	B	—

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>新規の取組みのため前年度の評価なし</p>

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校では部活動における時間外労働が大きく占めるのであるなら、コーチ等は一般人に任せられるような体制にシフトしていかなければ、働き方改革は進まない。 ・ 時間外労働時間が減っていないということで、先生方の心と身体の健康のために改善されながら、事業が継続されることを願います。 ・ 担当課の評価のとおり。 ・ 中学校の先生働きすぎ。仕事が多すぎての残業なのか、ただただ時間をつぶすための残業なのか。経済的にも学校は何時までと決めた方がよいのではないか。
--

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育広報の発行	担当者名	小又美穂、杉山拓

事業の目的・内容	平成23年度から、教育施策及び行事等を紹介するため、教育広報「のへじの教育」を発行。 令和2年度からは年1回の発行としている。			
事業の対象	町民一般（各家庭に毎戸配布）			
事業費	年度	平成31年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	70千円	35千円	77千円

事業の実績・成果等（数値）	令和2年度は4月1日に第14号を発行。 掲載内容 ・教育委員会主要行事 ・昨年度の学校行事紹介（小中学校、高等学校） ・各少年団、子ども会、みんなの教室募集案内 ※令和2年度は4ページであったが、令和3年度は6ページを予定。		
---------------	---	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町広報や学校だよりでは紹介しきれない、教育委員会の業務や学校の活動について掲載することができ、教育委員会の透明性に努めている。 ・紙面スペースの関係で紹介する事業に限りがあることから、年度によって、紹介する事業を変えている。 		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成31年度の評価意見）

<ul style="list-style-type: none"> ・R2年から年1回の教育広報になるので、内容がびっしりになると思います。今後もぜひ絶やすことなく発行してほしいと願っています。個人的に楽しみに読んでいました。 ・年1回の発行に全力をそそぎ、みんなが求めるものにしてほしい。また、SNSでの発信も望む。
--

評価委員意見（令和2年度）

<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる町の教育現場の情報を知るための重要なアイテムの1つと認識しますので、今後もよろしく願います。 ・今後も継続をしてほしい。

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校給食調理場
事務事業名	給食費の未納対策強化	担当者名	川畑 正人

事業の目的・内容	学校給食費の滞納額を減少させる。 ・平成25年度以前分は、所在不明者や所得が低い者が多いので不納欠損処分を考える。 ・児童手当の充当により滞納額減少に努める。 ・要保護世帯分は、学校長から上北県民局に納付依頼し年度末に全額徴収する。 ・準要保護世帯は、給食費免除としている。			
	事業の対象 小・中学校の給食費未納 65世帯、滞納額 14,528,800円 昭和63年度から平成25年度未納世帯			
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算
	金額	245 千円	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	徴収対策：日中の徴収可能な世帯は時間内訪問 ※時間外手当 12,000円/月 ・毎月電話催促、臨戸訪問による徴収、納付書の送付 ※7月催告書の送付 ・年児童手当 1,829,230円を給食費に充当 ・新規利用者に「給食利用申込書」の「児童手当から引落しを承諾する」を記載依頼 ・給食費滞納世帯へ児童手当充当の申出書提出依頼 ・R2 調定額36,222,000円 - 収入額 36,216,960円 = 未納額 5,040円 <small>児童・生徒分 徴収率 99.9 % (6月支給の児童手当で収納済み)</small>			
-------------------	---	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	A 優れた取組みが多く、十分成果が上がっている		
評価説明及び 考察、課題	成果 R2年度 滞納徴収額 403,730円 (H4年度～H31年度分) 年度末未納額 14,635,460円 コロナ禍による戸別訪問ができない。		
	課題 不納欠損処分ができるよう今後対策を考える。 保護者の死亡や住所不明者の徴収不能世帯が多い。		
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	A	B	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・未納額の大きさに驚くばかりです。この予算があったら町の財政負担が減ったと思います。私1人ぐらいではなく私ができる事を小さい所からしていく、そんな町民がたくさんいてほしいと思います。 ・対策については、良いと思う。
--

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の未納額はわずかだったので、近年の取組は非常に良いと思われる。 ・過去分の徴収は大変だと思いますが、色々な対策で成果が上がっているので評価します。 ・今後も継続を希望します。 ・成果が素晴らしいです。

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	就学援助事業	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	経済的な理由で町立小・中学校への就学が困難な家庭及び特別支援教室等で就学している児童生徒世帯への就学援助事業。		
	支給費目は、学用品費、通学用品費、体育実技用具費、新入学学用品費、校外活動費など。		
事業の対象	野辺地町内の小中学校に通う児童生徒及び町内から他町村学校に通う児童生徒		
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算
	金額	6,067 千円	5,542 千円
			令和 3 年度予算
			8,578 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○就学援助費		
	・要保護	対象：小学校4名、中学校1名	援助額87,580円
	・準要保護	対象：小学校82名、中学校48名	援助額4,957,013円
	※準要保護者は給食費免除。新型コロナの影響で家計が急変し、新たに受給者となった者は3名。		
	○特別支援就学奨励費		
	対象：小学校8名、中学校4名 援助額：496,676円		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない	
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
	自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
	評価説明及び考察、課題	児童扶養手当の受給や非課税世帯であることによる受給者に加え、令和2年度は新型コロナの影響で家計が急変した世帯に対しても援助を行った。影響は今後しばらく続くと思われるため、学校と情報共有を行いながら必要な世帯に援助を行っていく。 また、特別支援教育就学奨励費については令和2年度中に要綱を定め、支給費目等を改めて整理することで学校事務を含めた事務処理の軽減につながったものと思われる。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了			

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<p>・本当に必要なとして人へ届けられると良いと思います。気になる方へ連絡を入れ、情報を伝えて、助けられた方がいると知り、安心しました。</p>
--

評価委員意見(令和2年度)

<p>・全ての子どもたちは平等に教育を受ける資格があると思うので、重要な事業だと評価します。</p> <p>・今後も継続してほしい。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	新型コロナウイルス感染症への対応（新規）	担当者名	飯田 満

事業の目的・内容	国内における感染が拡大したことから、学校における対応や国庫補助金を活用して感染症対策に係る物品等を購入した。		
事業の対象	小中学校ほか保護者		
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算
	金額	0 千円	8,720 千円
			令和 3 年度予算
			200 千円

事業の実績・成果等 (数値)	①学校における対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校臨時休業（令和2年4月22日～5月6日） ・感染防止対策の観点から、運動会は規模縮小又は中止、修学旅行は日程変更又は延期となった。
	②感染症対策のための学習環境の整備、衛生用品等の購入（国庫補助金）
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業（大型テレビ、除菌脱臭器、サーマルカメラ、加湿器、プロジェクター、非接触型体温計等を購入） ・感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（デジタル教科書、サーマルカメラ等を購入） ・感染症のためのマスク等購入支援事業（マスク、消毒液等を購入）
	③コロナにより家計が急変した世帯への補助、校外学習等でのスクールバス利用で密にならないよう増車

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・学校においては、行事の縮小や教育活動の工夫により、感染防止対策に努めた。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	—

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

新規の取組みのため前年度の評価なし

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・野辺地町の子どもたちの間で、コロナに対する感染予防が徹底できているので評価します。 ・今後もコロナウイルスの流行が心配されます。継続を希望します。 ・努力は伺える。

事務事業評価シート

施策名	学校支援活動	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校支援推進事業	担当者名	荒谷 成美

事業の目的・内容	学校が地域と一体となって子どもを育む、地域とともにある学校づくりを目指す。地域住民による学校支援活動の充実と一層の活性化を推進する。		
事業の対象	各学校		
事業費	年度	平成 31 年度決算	令和 2 年度決算
	金額	53 千円	274 千円
			令和 3 年度予算
			29 千円

事業の実績・成果等 (数値)	・学校支援ボランティア活動を各学校ごとに実施 登下校の指導(見守り隊)、部活動の指導、図書の本棚の整理や読み聞かせ、水泳教室での指導、環境整備などさまざまな学校支援活動を地域の住民等の参画を得て実施した。		
	野辺地小学校	見守り隊 2 名	学校支援 2 5 名
	若葉小学校	見守り隊 1 9 名	学校支援 2 7 名
	馬門小学校	見守り隊 8 名	学校支援 1 0 名
	野辺地中学校		学校支援 1 3 名
	・県の補助金を活用し、見守り隊の使用物品を整備 見守り隊ベスト 60 着 見守り隊マグネットシート 50 枚		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分にできている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	学校支援ボランティアとして学校支援活動を行ってくださる方へ、町費によりボランティア保険に加入している。 見守り隊については、県補助金を活用し物品の整備を行った。見守り隊員は高齢の方が多い状況にある。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		A	A	B	B	A	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・役に立ちたいと自分からすすんで学校支援をされている方々に頭が下がります。 ・学校支援活動は、ますます大事になってくると思われるが、構成員がほぼ、定年後の方々となっているので、「推進」といっても、実際に補助が充分にないと、尻すぼみになっていく懸念がある。 ・見守り隊の高齢化が気になるが、継続していただきたい。 ・地域住民のボランティア精神のうえ成り立っている事業でありがたいと共に、もう少し学校と地域を結びつけるきっかけとなる何かをほしい。
--

評価委員意見(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊へのメッシュベストは夏から秋にかけて、非常に助かったと聞いている。 ・ボランティアの方が見守っていただいて、子どもたちも安心して通学しています。新規のボランティアを増やす為の事業も今後新たに必要だと思います。 ・担当課の評価のとおり。 ・積極的に協力していただく皆さんにただただ感謝しかない。ただ高齢化の波を打破する何かアイデアも必要ではないか。

事務事業評価シート

施策名	学校保健の取組み	担当課名	学校教育課
事務事業名	児童・生徒各種健診及び教職員健診	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	学校保健安全法第13条に基づき実施し、児童・生徒・教職員の健診等により適正な健康管理を行い、健康で充実した学校生活を送るため実施する。			
事業の対象	児童、生徒、教職員及び次年度就学予定の幼児			
事業費	年度	平成31年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算
	金額	3,694千円	4,565千円	3,978千円

事業の実績・成果等(数値)	○児童生徒の健診 ・(全学年)内科、歯科、耳鼻科、眼科、尿検査 ・(小1・3・5年、中1・3年)心電図検査 ・(保護者からの同意を得られた小5・6年、中2・3年)貧血検査 ・令和2年度は新型コロナの影響で11月に全検診を終了した。 ○教職員健診等 ・1日ドック・1日健診者以外の教職員を対象に7月に一斉に実施した。 ・公立学校共済組合のシステムを利用し、教職員向けのストレスチェックを11月に実施した。 ○就学時健診 来年度小学校に入学する幼児(約70名)を対象に令和2年10月16日及び10月28日に実施した。			
---------------	---	--	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	各種検診については、教委担当者が養護教諭部会に参加して要望の吸い上げや情報交換等を行っている。 令和2年度は教職員向けのストレスチェックを実施し、自身のストレスの度合いを把握してもらうとともに面接指導に繋げる仕組みを構築した。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H31参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成31年度の評価意見)

・聴力検査の機械(H29年)1台を学校で回して使用していると知りました。この他に、何か不自由な事があつたら、もっと情報を収集した方が良いと思います。 ・心身共に健康であることを願います。先生方、疲れ過ぎです。

評価委員意見(令和2年度)

・コロナ対策のために就学時健診を2日とっていると聞いた。会場を学校に変えた場合、数グループに分けることが可能になり、1日で完了することができるのではないかと。 ・今後も適切な健康管理をよろしく願います。 ・今後も継続をお願いします。
--